

〒104-8011

東京都中央区築地 5-3-2

朝日新聞出版 管理部 個人情報係 行き

個人情報の訂正等申請書（全4枚）

私は、個人情報保護法第26条に基づき、朝日新聞出版の保有する私の個人情報（保有個人データ）の訂正等を求めます。

1. 訂正等を求める方（ご本人）

ふりがな
氏名

Ⓜ 電話番号

住所

【本人確認のための添付書類（すべてコピーで結構です）】

（同封したものの□欄にレ印をつけてください。運転免許証、または外国人登録証明書の場合は1点だけで受け付けますが、その他の場合は、A群とB群それぞれの中から1点ずつを選び、その2点を必ずセットで同封してください。氏名、生年月日、現住所の3項目で確認しますので、本籍など、この三つ以外の記載欄は塗りつぶしたうえで送付いただいても結構です）

<1点のみの場合——いずれかをチェック>

運転免許証 外国人登録証明書

<2点セットの場合——A、Bの両群から1点ずつをチェック>

A群 = パスポート 健康保険証 年金手帳 学生証 その他（ ）

B群 = 住民票 公共料金の請求書 ご自宅に届いた消印付き郵便物

※今回の申請に先立ち、当社に個人情報の開示を求めたことがある場合は、開示の求めをされた年月日、もしくは当社からの開示の通知書に記載されている年月日を、該当欄にレ印をつけたうえで書きください。

開示を求めた年月日

開示の通知書に記載されている年月日

年 月 日

2. 代理人による申請の場合

代理人 ^{ふりがな}氏名

Ⓜ 電話番号

代理人住所

本人との関係

勤務先住所

同電話番号

同FAX番号

同E-MAILアドレス

その他

② ①の情報の所在

(当社の開示措置により上記内容を知った場合は開示の通知書に記載されている年月日を、そうでない場合は当社のどの部門が保有していると考えられるかを【例】にならってお書きください。保有部門を特定し、速やかにお答えできるようにするための措置です。)

【例】朝日新聞出版〇〇部が差出人になっているダイレクトメールが届いた(が記載に誤りがある)。

・「朝日新聞出版〇〇部から電話があった」と以前の勤務先から連絡があった。

▽開示の通知書に記載されている年月日 _____年 _____月 _____日

▽状況 _____

③ 求める措置の具体的内容

(①のどの項目をどのように処理すればよいのか、「例」にならって具体的にお書きください)

訂正 追加 削除※

※ここでいう「削除」は、データの一部を削除することをさします。データ全体の消去は「利用停止等」の措置になり、別の申請書式になります。個人情報保護法や当社の個人情報保護方針、及び利用停止等申請書をご参照ください。

(例) 電話番号が間違っている。正しい電話番号は・・・・・・

転居した。新しい住所は・・・・・・

姓が変わった。新しい姓は・・・・・・

連絡先を追加したい。追加したいメールアドレスは・・・・・・

不必要な家族情報が登録されている。「〇〇〇〇」の情報は削除してほしい。



<ご注意>

- 個人情報保護法第 26 条第 1 項に基づき訂正等（訂正・追加・削除）の求めをすることができるのは、ご本人に関する当社の「保有個人データ」の内容が「事実でない」という場合です。また、以下の場合、お求めに添えないことがあります。あらかじめご承知おきください。
 - ▽法第 2 条第 5 項の「保有個人データ」に該当しない。
 - ▽法第 26 条第 1 項の除外規定（訂正等に関して他の法令の規定の規定により特別の手続きが定められている）に該当する。
 - ▽法第 50 条第 1 項により、法第 4 章（個人情報取扱事業者の義務等）の規定が適用されない、「報道の用に供する目的」「著述の用に供する目的」で取り扱う個人情報に該当する。

- 同封していただく本人確認用の書類には、お客様にとって大切な個人情報が含まれています。確実に当社に届いたことが確認できるよう、配達記録郵便や書留郵便を利用されることをお勧めします。

- 当社は、本申請書を受領した日から遅滞なく、ご本人によるお求めの場合は「上記 1」のご住所へ、代理人によるお求めの場合は「上記 2」のご住所へ、それぞれ配達記録郵便で回答をお送りします。なお、本人確認や代理権確認のためにご提出いただいた公的書類等の写しはお返しできませんので、ご了承ください。

以 上